2025年理数系学会教育問題連絡会オンラインシンポジウム報告

テーマ:「生成AIが拓く未来の教育:可能性と課題」

趣旨:現代の教育現場は，急速に進化するテクノロジーに対応するための変革が求められています。生成AIは，その中心に位置し，教育のあり方を根本から変える可能性を秘めています。本シンポジウムでは，生成AIの最新技術とその教育への応用について，第一線で活躍する専門家たちが講演を行います。大学や高校において，生成AIを活用した教育は，個別化された学習体験の提供や，教師の負担軽減，そして新たな教育方法の開発に大きな可能性をもたらしてくれることが期待できます。生成AIがどのように教育の質を向上させ，未来の学びを形作るのかを一緒に探究しましょう。

1　日時:2025年2月23日（日）13:00～16:00

2　プラットフォーム:　Zoomミーティング　参加者数:89名

3　主催:理数系学会教育問題連絡会　https://sites.google.com/site/risukeisocieties/

4　プログラム　司会:岡本元達（日本生物教育学会）

13:00～13:05　開会挨拶　片山豪（理数系学会教育問題連絡会 会長/日本生物教育学会）

(1) 講演（13:05～14:40）

13:10～13:40　講演1 「生成AIとオンライン教育が教育の未来に与える影響」
　　金子 格（(一社)日本オープンオンライン教育推進協議会/JMOOC，一橋大学）

13:40～14:10　講演2 「AIによる教育の変革と新たな学びの可能性」
　　湯本　真知（Google for Education）

14:10～14:40　講演3 「生成AIを活用した教育実践方法と実践事例紹介」
　　中村 大輝（宮崎大学）

(2) パネルディスカッション（14:55～15:55）

テーマ:「生成AIが教育に与える影響と今後の展望」

モデレーター:竹内 光悦（理数系学会教育問題連絡会 運営委員/日本統計学会）

パネリスト:金子 格，湯本　真知，中村 大輝

15:55～16:00　閉会挨拶　市川洋（理数系学会教育問題連絡会 副会長/日本地球惑星科学連合）

5　実施内容（要約）

金子氏は，生成AIがレガシー教育を変革し，個別化された学びを促進する可能性を議論。AIは受講者の理解度に応じて出題を調整でき，学習速度を向上させると説明しました。生成AIの機能や効果を挙げ，教育の質向上や自律的な学びの促進についても言及しました。

湯本氏は，Googleの教育へのAI活用の具体例を示し，教育のデジタル化と個別最適化の重要性を強調。また，AIの倫理や安全性についての懸念にも触れました。

中村氏は，生成AIの教育における利点として即時フィードバックや教材作成を挙げ，実践事例を紹介。生成AIが理科教育においてどのように活用されているかも解説し，注意点や倫理的な側面についても述べました。

パネルディスカッションでは，GIGAスクール構想の成果や学校現場の変化，生成AIの信頼性や活用方法について議論されました。今後の教育においてAIが重要な役割を果たすことが期待されている一方で，その利用には注意と倫理的配慮が必要であることも強調されました。